

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 明治海運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9115 URL <https://www.meiji-shipping.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)内田 和也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)水野 敏郎 (TEL)03-3792-0811
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,267	△8.6	996	△51.9	711	△52.8	396	△40.7
2020年3月期第2四半期	21,090	5.0	2,069	7.2	1,507	△21.7	668	△29.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 614百万円(146.3%) 2020年3月期第2四半期 249百万円(△84.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.10	—
2020年3月期第2四半期	20.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	200,440	38,255	8.9
2020年3月期	170,593	36,660	10.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 17,842百万円 2020年3月期 17,655百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では、2021年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	38,500	△12.3	1,400	△74.3	400	△91.5	700	△59.3	21.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規1社 (TRINITY BULK, S. A.)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	36,000,000株	2020年3月期	36,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,263,275株	2020年3月期	3,263,245株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	32,736,725株	2020年3月期2Q	32,736,755株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行い、2020年3月期第2四半期および2020年3月期の関連する連結業績について、遡及適用後の数値をそれぞれ記載しています。当該対象項目は、経常利益、包括利益、純資産額、総資産額および自己資本比率です。なお、会計方針の変更に関する詳細については、添付資料10ページ「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」に記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により予想以上のマイナス影響を受けました。

米国・欧州・我が国経済ともに、4—6月期の実質GDP成長率が統計始まって以来最大の落ち込みとなりました。一方で、経済活動の段階的な再開により一部下げ止まり、回復の兆しも出てきました。

中国経済は、早くから経済活動の再開が本格化し、景気支援策も実施され4—6月期の実質GDP成長率はプラスに復帰しました。

このような経済状況のもと、外航海運業もコロナ禍の影響を受けることとなりました。

タンカー市況は、サウジアラビアの原油増産を受け船腹調達が3月以降活発化し、乱高下しつつも例年以上の高い水準で推移しました。5月に入りOPEC諸国の減産などによる荷動き低下の影響を受けて急落、季節的要因による需要減もあり、以降例年並みの水準で推移しました。

バルカー市況は、特に大型のケーブサイズにおいては鉄鉱石などの太宗貨物の輸出及び需要がコロナ禍の影響を受け、低調なスタートとなりましたが、特に中国における需要の回復に伴い5月以降回復の兆しを見せました。また中小型船については、大型船よりも緩やかな市況変動でありましたが、同様な市況の推移となりました。

自動車船市況はコロナ禍の影響が甚大であり、前半には世界における船腹量の半数近くが稼働を自発的に停止せざるを得ない、いわゆる係船状態となりました。このような状況において高齢船のスクラップが数か月間で急速に進んだこと、中国および北米における荷動き回復が想像以上に早かったことを受けて、コロナ禍前には及ばないものの徐々に回復の兆しを見せました。

コンテナ船市況もコロナ禍の影響は大きく、余剰船腹の係船などによる船腹調整が行われていました。世界的な経済活動再開による中国、北米航路を中心とした荷動きの急激な増加に伴い、回復基調にはありますが、一部地域にコンテナ不足や余剰が生じており、その勢いには地域差が見られました。

当社グループの外航海運業部門は、前連結会計年度に竣工・取得した船舶の稼働増に加え、タンカー4隻、バルカー2隻、自動車船1隻の新規稼働もあり、売上高は16,871百万円（前年同四半期比11.0%増）となり、外航海運業利益は2,183百万円（前年同四半期比46.1%増）となりました。また、特別損益として、当社の連結子会社が所有する船舶1隻の船舶売却益436百万円、船舶1隻の減損損失292百万円、および当社の持分法適用関連会社を連結子会社としたことによる負ののれん発生益582百万円、段階取得に係る差損455百万円を計上しています。

ホテル関連事業部門は、コロナ禍の影響により4月から6月まで休館を余儀なくされるケースも見受けられ、ホテル関連事業部門の売上高は2,143百万円（前年同四半期比62.0%減）となり、ホテル関連事業損失は1,327百万円（前年同四半期はホテル関連事業利益424百万円）となりました。

不動産賃貸業部門は、売上高は253百万円（前年同四半期比1.8%減）、不動産賃貸業利益は139百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,267百万円（前年同四半期比8.6%減）、営業利益は996百万円（前年同四半期比51.9%減）となりました。経常利益は、711百万円（前年同四半期比52.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は396百万円（前年同四半期比40.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末より29,846百万円増加し、200,440百万円となりました。これは主に新造船竣工に伴う船舶の増加によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末より28,251百万円増加し、162,184百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

また、純資産の部は、前連結会計年度末より1,594百万円増加し、38,255百万円となりました。これは主にTRINITY BULK, S.A.の連結子会社化に伴う非支配株主持分の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローにおいては、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて1,734百万円増加し、21,235百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は、5,247百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益981百万円に、減価償却費5,953百万円を加算し、その他非資金項目を加減算した結果です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、27,280百万円(前年同四半期120.4%増)となりました。これは主に新造船建造費等の有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によって得られた資金は、24,012百万円(前年同四半期208.5%増)となりました。これは主に、短期借入金の純増額および長期借入れによる収入の合計34,256百万円と、長期借入金、リース債務の返済および社債の償還による支出9,770百万円との差額24,486百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、今後の為替状況等の不確定要素があるため、現時点では2020年5月15日公表時の数値を据え置くこととしました。

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。今後業績予想等の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,592,201	21,261,175
売掛金	885,690	50,616
商品及び製品	26,298	28,362
原材料及び貯蔵品	664,346	675,331
その他	3,056,305	4,061,276
流動資産合計	24,224,842	26,076,762
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	99,449,928	130,716,977
建物及び構築物（純額）	11,934,661	12,469,000
土地	8,677,822	8,676,159
建設仮勘定	13,915,713	11,941,952
その他（純額）	606,527	556,699
有形固定資産合計	134,584,654	164,360,789
無形固定資産		
その他	86,936	81,597
無形固定資産合計	86,936	81,597
投資その他の資産		
投資有価証券	8,295,323	6,529,747
長期貸付金	1,133,673	1,071,742
繰延税金資産	1,238,838	1,308,194
その他	1,029,701	1,011,701
投資その他の資産合計	11,697,538	9,921,385
固定資産合計	146,369,128	174,363,773
資産合計	170,593,971	200,440,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,725,759	1,809,733
1年内償還予定の社債	948,000	846,000
短期借入金	25,258,347	32,774,314
リース債務	176,185	173,295
未払金	852,150	239,981
未払法人税等	359,730	329,443
賞与引当金	55,443	100,548
その他	4,889,780	3,719,859
流動負債合計	34,265,395	39,993,175
固定負債		
社債	1,658,000	1,226,000
長期借入金	90,574,425	112,384,159
リース債務	2,138,430	2,016,133
繰延税金負債	315,437	121,149
再評価に係る繰延税金負債	1,043,086	1,043,086
引当金		
役員退職慰労引当金	235,494	220,754
特別修繕引当金	2,307,664	2,445,659
引当金計	2,543,158	2,666,413
退職給付に係る負債	352,105	367,751
持分法適用に伴う負債	277,406	431,698
その他	765,585	1,935,314
固定負債合計	99,667,634	122,191,706
負債合計	133,933,030	162,184,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,800,000	1,800,000
資本剰余金	21,128	385,960
利益剰余金	14,159,697	14,375,841
自己株式	△675,520	△675,530
株主資本合計	15,305,305	15,886,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,038	202,435
繰延ヘッジ損益	△613,649	△823,025
土地再評価差額金	1,906,276	1,906,276
為替換算調整勘定	833,786	670,910
その他の包括利益累計額合計	2,350,452	1,956,597
非支配株主持分	19,005,182	20,412,785
純資産合計	36,660,940	38,255,654
負債純資産合計	170,593,971	200,440,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	21,090,868	19,267,963
売上原価	16,957,091	16,281,119
売上総利益	4,133,776	2,986,843
販売費及び一般管理費	2,063,784	1,990,456
営業利益	2,069,992	996,387
営業外収益		
受取利息	43,941	36,634
受取配当金	38,221	33,614
為替差益	83,284	133,028
持分法による投資利益	163,562	218,088
その他	237,661	429,746
営業外収益合計	566,671	851,112
営業外費用		
支払利息	1,049,258	988,127
その他	80,244	148,319
営業外費用合計	1,129,502	1,136,447
経常利益	1,507,161	711,052
特別利益		
船舶売却益	—	436,157
負ののれん発生益	—	582,552
特別利益合計	—	1,018,710
特別損失		
減損損失	—	292,762
段階取得に係る差損	—	455,097
特別損失合計	—	747,859
税金等調整前四半期純利益	1,507,161	981,903
法人税、住民税及び事業税	306,096	321,280
法人税等調整額	37,423	△750,114
法人税等合計	343,520	△428,834
四半期純利益	1,163,640	1,410,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	495,166	1,014,651
親会社株主に帰属する四半期純利益	668,474	396,085

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,163,640	1,410,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,359	△45,720
繰延ヘッジ損益	△104,715	△471,678
為替換算調整勘定	△451,790	△258,440
持分法適用会社に対する持分相当額	△304,096	△20,026
その他の包括利益合計	△913,962	△795,865
四半期包括利益	249,678	614,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,590	2,230
非支配株主に係る四半期包括利益	156,088	612,641

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,507,161	981,903
減価償却費	5,434,600	5,953,012
減損損失	—	292,762
負ののれん発生益	—	△582,552
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	455,097
受取利息及び受取配当金	△82,163	△70,249
有形固定資産除売却損益 (△は益)	67	△434,088
支払利息	1,049,258	988,127
為替差損益 (△は益)	△122,069	△125,560
匿名組合投資損益 (△は益)	△12,942	△75,625
デリバティブ評価損益 (△は益)	△42,428	52,300
持分法による投資損益 (△は益)	△163,562	△218,088
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△14,740
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,593	15,646
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	141,915	74,295
前受金の増減額 (△は減少)	△252,449	△149,934
たな卸資産の増減額 (△は増加)	86,293	△13,048
未消費税等の増減額 (△は増加)	△1,474	△129,910
海運業未払金の増減額 (△は減少)	388,213	41,562
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,011,315	△123,523
その他	△552,508	△1,036,322
小計	6,380,189	5,881,062
利息及び配当金の受取額	81,850	744,436
利息の支払額	△1,079,301	△1,043,378
法人税等の支払額	△302,249	△334,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,080,489	5,247,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,458,177	△31,128,972
有形固定資産の売却による収入	1,907	1,206,728
定期預金の預入による支出	△241,500	△26,000
定期預金の払戻による収入	248,040	91,724
投資有価証券の取得による支出	△40,447	△58
貸付けによる支出	△53,965	—
貸付金の回収による収入	222,500	55,519
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	2,526,394
その他	△55,192	△5,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,376,834	△27,280,007

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,038,479	4,056,318
長期借入れによる収入	16,932,365	30,200,584
長期借入金の返済による支出	△11,278,000	△9,111,416
社債の償還による支出	△581,500	△534,000
配当金の支払額	△179,108	△179,376
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△348,192
非支配株主への配当金の支払額	△5,080	△5,080
自己株式の取得による支出	—	△9
リース債務の返済による支出	△162,005	△125,186
その他	18,060	58,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,783,211	24,012,566
現金及び現金同等物に係る換算差額	△286,662	△245,396
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	200,202	1,734,698
現金及び現金同等物の期首残高	16,223,675	19,500,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,423,878	21,235,175

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社のPRIMATE SHIPPING S.A.の株式を追加取得しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が364,831千円増加しています。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社は会計システムの変更に伴い、より理論的な会計処理の観点から、「株式の間接所有に係る資本連結手続に関する実務指針」(会計制度委員会報告第7号(追補)平成26年11月28日最終改正)第14項に規定する緊密者等を通じた間接所有の場合の処理について変更することとしました。

これまで、連結損益計算書及び連結包括利益計算書においては、当社持分法適用会社が保有する当社連結子会社の当期純損益及び包括利益のうち親会社持分が非支配株主に帰属する当期純利益及び非支配株主に係る包括利益として計上される一方で、持分法による投資損益及び持分法適用会社に対する持分相当額としても重複して計上していましたが、本会計処理方法の変更により、当該重複部分を相殺して計上することとしました。連結貸借対照表においても同様に、投資有価証券および持分法適用に伴う負債と、非支配株主持分とを重複してこれまで計上していましたが、本会計処理方法の変更により、当該重複分を相殺して計上することとしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっています。この結果、前第2四半期連結累計期間の経常利益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益および非支配株主に帰属する四半期純利益は85,314千円減少し、四半期包括利益および非支配株主に係る四半期包括利益は28,911千円増加しています。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益および親会社株主に係る四半期包括利益には影響ありません。

また、前連結会計年度の連結貸借対照表についても遡及適用後の連結財務諸表となっています。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、投資有価証券および総資産額は5,193,852千円減少し、持分法適用に伴う負債は550,752千円減少し、非支配株主持分および純資産額は4,643,099千円減少しています。なお、利益剰余金およびその他の包括利益累計額には影響ありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,192,858	5,639,892	258,117	21,090,868	—	21,090,868
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,192,858	5,639,892	258,117	21,090,868	—	21,090,868
セグメント利益	1,494,797	424,756	150,438	2,069,992	—	2,069,992

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,871,365	2,143,222	253,375	19,267,963	—	19,267,963
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,871,365	2,143,222	253,375	19,267,963	—	19,267,963
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,183,681	△1,327,120	139,826	996,387	—	996,387

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外航海運業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が所有する船舶1隻について売却を決定したため、帳簿価額を回収可能価額(売却予定額)まで減額し、減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては292,762千円です。

(重要な負ののれん発生益)

「外航海運業」セグメントにおいて、持分法適用関連会社であったTRINITY BULK, S.A.の株式を追加取得し、連結の範囲に含めたことにより、負ののれん発生益を計上しています。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては582,552千円です。